

令和 3 年 8 月 19 日現在

機関番号：64401

研究種目：若手研究(A)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H04774

研究課題名(和文)チベット文化圏東部の未記述言語の解明と地理言語学的研究

研究課題名(英文) Investigation of undescribed languages in the eastern Tibetosphere and their geolinguistic research

研究代表者

鈴木 博之 (Suzuki, Hiroyuki)

国立民族学博物館・人類基礎理論研究部・外来研究員

研究者番号：10593006

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,900,000円

研究成果の概要(和文)：チベット文化圏東部には、チベット系諸言語とともに非チベット系のチベット・ビルマ諸語が多数分布し、記述が不十分であるだけでなく、方言については未記述で残されているものが多数ある。本研究では、中国四川省・雲南省・青海省・チベット自治区において臨地調査を行い、チベット系諸言語(カム・アムド)の未記述方言および3つの未記述言語(ラモ語、ラロン・マ語、タヤ・マ語)の諸方言の記述を中心に進め、基本的な言語構造、語彙特徴を明らかにした。また、調査で得られた地点情報とデータをリンクさせ、これまでの言語資料を併せて言語地図を作成し、地理言語学的研究を進めることで、諸言語間の関係についてより詳細な考察を提示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

(1) これまで未記述であったチベット文化圏東部チベット・ビルマ系諸言語を記述することができ、また、各言語の歴史言語学的位置づけについて検討を行い、同諸語についての理解を深めることができた。(2) ラモ語の方言2種の文法構造について、踏み込んだ分析を行い、チベット系諸言語との対照を通じて、文法体系の一部が形態統語的に類似する特徴を見せることを記述し、翻訳借用の可能性を提起した。(3) 本研究に必要なフィールドワークをネイティブ研究者との協働で行い、現地研究者の育成に寄与した。

研究成果の概要(英文)：In the eastern Tibetosphere, there are many Tibetic and non-Tibetic Tibeto-Burman languages, which have been insufficiently described, and many dialects remain undescribed. In this project, we conducted field surveys in Sichuan, Yunnan, Qinghai and Tibet Autonomous Regions of China, and focused on the description of undescribed dialects of Tibetic languages (Khams and Amdo) and three undescribed languages (Lamo, Larong sMar, and Drag-yab sMar), and clarified the basic language structure and lexical features of each. In addition, we have made linguistic maps with the linguistic data obtained from this survey together with the previous linguistic data and carried out a geolinguistic study. Then we have presented more detailed analyses of the relationship between the languages and dialects.

研究分野：言語学

キーワード：チベット語 チベット・ビルマ諸語 言語接触 混合語 地理言語学 記録言語学 フィールドワーク
中華人民共和国

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

中国四川省西部を中心とするチベット文化圏東部は、歴史上様々な民族が往来した地域として、1980年代より人文科学の様々な分野で注目されてきた。現在、同地域の大半はチベット文化圏に属しているが、古くはチベット文化圏とは異なる文化圏が存在したと考えられている。言語学の面では、チベット語以外に多くの言語が存在することが報告され、その研究成果は孫宏開『八江流域的藏緬語』(2013)、黄布凡『川西藏区的語言』(2009)などにまとめられている。

従前の研究はおよそ点的、静的な理解に留まり、分布地域全体の面的な理解や言語接触といった動的な言語環境とその変化について十分に調べられていなかった。また、当該地域の言語状況については、非チベット語の存在とその言語構造に学界の興味が集まり、チベット語諸方言に対する理解が追いついていなかった。このことは、非チベット語の社会的上位言語として機能するチベット口語の実態が分からないままであることを意味し、その結果、緊密な言語接触が起こったと予想される地域における実際の言語接触現象を分析する手段がないままであった。また、チベット自治区に分布する言語の状況については、臨地調査に関わる困難のため、四川省西部の言語状況ほどははっきりしたことは不明のままであった。

加えて、近年の社会構造の変化によって、少数派である非チベット語のみならず通用性の低いチベット語諸方言までもが、共通言語として機能する漢語の使用ヘシフトすることによって話者数を激減させ、消滅の危機に瀕する状況に追い込まれている。このため、言語・方言のいかににかかわらず、記録言語学的アプローチによって現状を記録しておかなければ、将来的に失われてしまうことは必至である。

研究開始に先立ち、研究代表者はチベット自治区東部に未記述のチベット・ビルマ系言語が話されていることを知り、その言語の状況を解明すべく、臨地調査を通じた言語記述が喫緊の課題であるという認識に至った。

2. 研究の目的

本研究の目的は、臨地調査を通じた言語記述と未記述言語の基礎的な資料収集、およびそれらについて地理言語学的手法による分析を行うことである。

臨地調査については、チベット文化圏東部(中国四川省西部を中心とする地域)において、チベット人によって話される未記述のチベット語諸方言及び非チベット語諸方言の基礎語彙・基礎文例の記録および分析を目的とする。また、可能であれば民話などの語りの資料も収集し、記述言語学的な分析を行う。

データ分析については、現地調査で得たデータと既存のデータを統合し、地理言語学的手法で分析することを通じて言語分布をより詳細に把握することを目的とする。言語データ収集が比較的まとまっている雲南省のチベット系諸言語については、単独でまとめた分析を行い、地理言語学的研究の一例として提示する。

また、これまでの地理言語学的研究においては、チベット自治区の利用可能なデータが著しく少なかったため、地理的・文化的に連続する文化圏単位での分析に向けて、特に同地区のチベット系諸言語・諸方言のデータを収集し、より自然な形で地理言語学的考察ができるように、従前の言語地図を拡張する。それと同時に、諸言語間の言語特徴の異同について明らかにしたうえで、当該地域の文化的・社会的上位言語であるチベット系諸言語が他の少数言語に与えた影響およびその歴史的過程を解明する。

3. 研究の方法

本研究は臨地調査とデータ整理・解釈の2つに大別され、各研究年度を通じて行う。臨地調査については、チベット文化圏東部の3つの地域区画(中国チベット自治区東端、四川省カンゼ州中部～雲南省北西端、甘孜州北端～青海省南東端)において、チベット人によって話される未記述のチベット語諸方言及び非チベット語諸方言の基礎語彙・基礎文例の記録を、主に調査票を用いたアンケート式によって行う。臨地調査は、研究代表者自身によるものとともに、現地の研究協力者を派遣して行うことにする。臨地調査には、調査地へのアクセスの観点と調査遂行能力の観点から、ネイティブ研究者の協力を得る。

臨地調査を通して得られたデータは、既存の言語地図との統合を図るために既定の規格で整理・入力する。これをもとにオンライン言語地図ソフトのArcGIS onlineを用いて言語地図を作成し、同時に地図の解釈方法を検討する。この流れを研究期間を通じて繰り返し、最終的に本研究の成果となる従来知られていなかった言語を含む言語分布図を作成し、また、言語地図上での分析を踏まえ、言語分布についての歴史言語学的説明を与える。

4. 研究成果

本研究において新たに記述した言語・変種は、100地点余りに達する。チベット自治区においては、チャムド市に分布する言語として、カムチベット語のほか、ラモ語、ラロン・マ語およびタヤ・マ語の諸方言を記録した。ニンティ市に分布する言語として、カムチベット語、セク語の諸方言を記録した。四川省においては、カンゼ州においてカムチベット語、アムドチベット語、チョユ語、ラゴン・チョユ語、ムニャ語の諸方言を記録した。雲南省では、カムチベット語、リス語、ナシ語、セリブ語の諸方言を記録した。青海省においては、アムドチベット語の諸方言のほか、方言区分未定のチベット系言語を記録した。加えて、カムチベット語、アムドチベット語、

チョネチベット語、ラモ語の各母語話者の研究者との協働により、それぞれの言語構造についてより詳細に研究を進めることができ、その成果の一端を論文や国際会議などで発表した。

チベット・ビルマ諸語の研究において、ラモ語、ラロン・マ語、タヤ・マ語、セク語の存在は知られておらず、本研究を通じてはじめてその分布地域の詳細を明らかにし、言語地図の形式で発表した。このうち、ラモ語、ラロン・マ語、タヤ・マ語については、基本語彙リストを論文として発表した。ラモ語については、2大方言(ドンパ方言とラメ方言)の基本的な文法構造を記述し、かつチベット系諸言語の体系を参照しつつ、各言語間の異同の一端を明らかにした。

四川省西部においては、複数回の臨地調査を通じて、これまでの研究および資料の空白を埋めることが可能となった。まず、リタン県の言語状況の全体像を把握し、より詳細な言語分布図を発表した。これによって、カムチベット語、アムドチベット語、チョク語の分布地域とそれぞれの言語特徴が把握できるようになった。また、口承伝承や文献調査も行い、アムドチベット語の来歴と民族移動の歴史をとらえた。また、同地のカムチベット語が複数の方言群から形成されていることも分かった。次に、チベットの伝統的地理区分でサゲンと呼ばれる地域(現バタン県、ペクル県の県境を中心とする、金沙江沿岸地域)において、未記述のカムチベット語諸方言を記録した。さらに、ダルツェンド市については、未記述であった金湯、吉居の2地域で臨地調査を行い、各方言の特徴を把握して、方言区分を確定した。また、塔公鎮のカムチベット語の文法記述を進め、その言語の発展史についてより詳細な考察を行い、加えて、同言語の民話9編について、言語学的注釈を完成させ、かつその文体について研究を進め、その成果を論文にまとめて発表した。

雲南省北西部においては、まず研究の中間成果として、スワデシュ100語を対象として、100余地点のカムチベット語方言を言語地図化し、考察を添えて、単行本として出版した。そののち、継続して行った臨地調査を通じて、2点の際立つ発見があった。1つは、これまで未記述であったカムチベット語の方言を記録でき、それが雲南省に分布する他のいずれの方言よりも古態的な音特徴をもっていることが明らかとなった。その方言について、歴史言語学的、地理言語学的検討を加えた結果、これまでの方言区分とは異なる区分を提案できる性格のものであると分かった。もう1つは、現地の回族によって話されるカムチベット語と漢語西南官話の混合語(セリブ語)を記述し、カムチベット語の成分について、どのような特徴があるのか、その一端を解明した。

青海省南東部においては、チベットの伝統的地理区分でゴロクと呼ばれる地域において、未記述のチベット系言語の調査・記録を行うとともに、ゴロクの民族史についての情報を集め、かつ現在のドミナントであるアムドチベット語話者が本来のゴロクの民ではなく、別の言語がゴロク地域の基層にあることが明らかになった。また、アムドチベット語の一部の方言にこれまで記述されてこなかった謙讓表現があることを体系的に整理し、その成果を論文にまとめて発表した。

さらに、甘肅省出身のチョネチベット語母語話者との協働を通じて、同言語の民話の言語学的注釈に取り組んだ。9編の物語を分析し、うち5編について注釈を完成させた。

以上の個別地域における臨地調査を通じて、従前記録のなかったデータを言語地図に反映させることができ、言語分布についてより詳細な知見を得ることができた。また、以上のデータは現在進行中のチベット言語学および地理言語学の研究プロジェクトに統合し、研究のさらなる発展につながった。しかし、なお未記述の地点は多く存在し、今後の研究によってさらに細かな地点における言語データを記述していく必要がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計92件（うち査読付論文 50件 / うち国際共著 39件 / うちオープンアクセス 61件）

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 4
2. 論文標題 淺談尼西鄉祖莫頂藏語聲調的特殊現象	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 雲南藏學研究	6. 最初と最後の頁 —
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Yuxia Zou	4. 巻 0
2. 論文標題 Writing oral varieties with Tibetan script: A case study on Cone Tibetan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Language Diversity in Amdo: Changes and Challenge	6. 最初と最後の頁 —
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 40
2. 論文標題 White mDzomo, a folktale in Lhagang Tibetan of Minyang Rabgang Khams	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 —
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Tsering Samdrup, Hiroyuki Suzuki	4. 巻 0
2. 論文標題 Politeness strategies, language standardisation, and language purism in Amdo Tibetan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Language standardisation and language variation in multilingual contexts - Asian perspectives	6. 最初と最後の頁 223-240
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 0
2. 論文標題 Glottonyms, identity, and language recognition in the eastern Tibetosphere	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bordering Tibetan languages: Making and marking languages in transnational High Asia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yang Zhou, Hiroyuki Suzuki	4. 巻 28.4
2. 論文標題 Evidentiality in Selibu: A contact-induced emergence	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Diachronica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1075/dia.19055.zho	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 44.2
2. 論文標題 Hearsay evidential marking strategy in Lhagang Tibetan: A case study on folktales and legends	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistics of the Tibeto-Burman Area	6. 最初と最後の頁 141-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1075/litba.21001.suz	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Lozong Lhamo	4. 巻 22.4
2. 論文標題 /ka-/ negative prefix in Choswateng Tibetan (Shangri-La, Yunnan)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Language and Linguistics	6. 最初と最後の頁 595-631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1075/lali.00092suz	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 1
2. 論文標題 雲南チベット文化圏におけるカムチベット語の「ごはんを食べる」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地理言語学研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Tibetic terms for 'sow' and 'boar' in re-interpretation and analogy: From 'female pig' to 'pigmother' and then to 'pig-father'	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 26
2. 論文標題 稲・稲作とチベット文化圏	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FIELDPLUS	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 6
2. 論文標題 語音演变的地理語言學解釈：以雲南香格里拉藏語為例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 常熟理工大學學報	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 0
2. 論文標題 ts[h / ts[/ dz[: チベット系諸言語における歯-後部歯茎破擦音	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シナ=チベット系諸言語の音声現象：音声観察と分析	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Shirai, Keita Kurabe, Hiroyuki Suzuki, Kazue Iwasa, Shiho Ebihara	4. 巻 0
2. 論文標題 'It rains' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 304-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazue Iwasa, Hiroyuki Suzuki, Keita Kurabe, Shiho Ebihara, Satoko Shirai	4. 巻 0
2. 論文標題 Tone and accent in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 264-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe, Hiroyuki Suzuki, Satoko Shirai, Kazue Iwasa, Shiho Ebihara	4. 巻 0
2. 論文標題 Numeric quantification in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 218-222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe, Hiroyuki Suzuki, Kazue Iwasa, Shiho Ebihara, Satoko Shirai	4. 巻 0
2. 論文標題 'Iron' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 183-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazue Iwasa, Hiroyuki Suzuki, Keita Kurabe, Shiho Ebihara, and Satoko Shirai	4. 巻 0
2. 論文標題 'Wind' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 150-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiho Ebihara, Kazue. Iwasa, Keita Kurabe, Satoko Shirai, Hirotuki Suzuki	4. 巻 0
2. 論文標題 'Milk' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 116-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Keita Kurabe, Kazue Iwasa, Satoko Shirai, Shiho Ebihara	4. 巻 0
2. 論文標題 'Rice plant' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 79-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 0
2. 論文標題 'Rice plant' in Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 60-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Shirai, Keita Kurabe, Kazue Iwasa, Hiroyuki Suzuki, Shiho Ebihara	4. 巻 0
2. 論文標題 'Sun' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia	6. 最初と最後の頁 41-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo, Tsering Samdrup	4. 巻 2
2. 論文標題 Geolinguistic analysis of 'hand', 'wind', and 'moon' in Tibetic languages in sMarkhams, mDzogong, and rDzayul counties	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Satoko Shirai, Shiho Ebihara, Kazue Iwasa, Keita Kurabe, Hiroyuki Suzuki	4. 巻 2
2. 論文標題 Grammatical relations in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Stop series in the Saami languages: A geolinguistic approach	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 116-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Stop series in Caucasian languages: Preliminary mapping	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 110-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Prenasalisation in Tibetic languages in the eastern Tibetosphere	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 102-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Shiho Ebihara, Kazue Iwasa, Keita Kurabe, Satoko Shirai	4. 巻 1
2. 論文標題 Stop series in Tibeto-Burman	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 42-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Stop series in Asian and African languages	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Asian and African Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 24-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 5
2. 論文標題 從"na"到"不": 雲南迪慶藏語否定標記的語法化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シナ=チベット系諸言語の文法現象	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 次林央珍、鈴木博之	4. 巻 0
2. 論文標題 東旺藏語語言地圖及其與周邊土話的關係	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国語言地理研究論文集	6. 最初と最後の頁 39-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 0
2. 論文標題 從地理語言学的角度看雲南藏語//及//j//的歷史發展	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国語言地理研究論文集	6. 最初と最後の頁 21-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之、才讓三周、四郎翁姆	4. 巻 13
2. 論文標題 タヤ・マ[Drag-yab sMar]語巴俄[mBengo]方言の語彙資料（日英対照）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 189-213
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 13
2. 論文標題 アムドチベット語色ka[gSerkha]方言におけるチベット文語形式との音対応 語彙リストを添えて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 13-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之、四郎翁姆	4. 巻 13
2. 論文標題 カムチベット語塔公[Lhagang]方言における口蓋垂音	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 50
2. 論文標題 カムチベット語金湯方言における基数詞の形態論的特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ニダバ	6. 最初と最後の頁 16-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo, Tsering Samdrup	4. 巻 159
2. 論文標題 A contrastive approach to the evidential system in Tibetic languages: Examining five varieties from Khams and Amdo	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gengo Kenkyu	6. 最初と最後の頁 69 ~ 101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11435/gengo.159.0_69	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Tashi Nyima	4. 巻 4
2. 論文標題 Evidential system of copulative and existential verbs in Lamo	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Grammatical phenomena of Sino-Tibetan languages	6. 最初と最後の頁 259-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo, Tsering Samdrup	4. 巻 4
2. 論文標題 Lamei, another dialect of Lamo (mDzogong, TAR): Vocabulary and sentence structure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Grammatical phenomena of Sino-Tibetan languages	6. 最初と最後の頁 25-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 39
2. 論文標題 [書評]Jean-Claude Bouvier et Claude Martel. La langue d'oc telle qu'on la parle : Atlas linguistique de la Provence. Forcalquier : Les Alpes de Lumiere, 2016, xii+321pp.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 149-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/261916	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chunmei Li, Hiroyuki Suzuki	4. 巻 39
2. 論文標題 Affricate series in Jintang Tibetan (Darmdo Municipality, Sichuan)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/261910	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 0
2. 論文標題 Geolinguistic significance of the Phongpa dialect in the history of Yunnan Tibetan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the Second Annual Meeting of the Geolinguistic Society of Japan	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.4515013	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 周洋、鈴木博之	4. 巻 4
2. 論文標題 水磨房話體範疇的混合特徴	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 民族語文	6. 最初と最後の頁 43-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 34
2. 論文標題 《藏拉法詞典》(1899)収録の動詞snang的口語用法及其來歷	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 南開語言學刊	6. 最初と最後の頁 155-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 -
2. 論文標題 How Tibetans classify pigs in their languages in the eastern Tibetosphere: Revisiting the pig issue through geolinguistics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Papers from the Workshop "Phylogeny, Migration, and Contact of East and Southeast Asian Languages and Human Groups"	6. 最初と最後の頁 40-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsering Samdrup and Hiroyuki Suzuki	4. 巻 42
2. 論文標題 Humilifics in Mabzhi pastoralist speech of Amdo Tibetan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Linguistics of the Tibeto-Burman Area	6. 最初と最後の頁 222-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1075/ltba.17008.sam	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 38
2. 論文標題 [書評] 邵明園 (著) 《河西走廊瀕危藏語東納話研究》廣州: 中山大學出版社、2018年、10+450pp.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都大学言語学研究	6. 最初と最後の頁 65-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/250192	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之、友珍	4. 巻 14
2. 論文標題 カムチベット語章納[nGramsna]方言の音声記述と語彙	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア・アフリカの言語と言語学	6. 最初と最後の頁 265-304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/94525	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 49
2. 論文標題 カムチベット語捧八[Phongpa]方言のわたり音/r/	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ニダバ	6. 最初と最後の頁 31-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之、四郎翁姆	4. 巻 12
2. 論文標題 カムチベット語塔公[Lhagang]方言における問投詞と談話標識	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 12
2. 論文標題 [書評]仁増旺姆(著)《送部藏語研究》北京:中央民族大学出版社、2013年、3+245pp. + 1 地図	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 43-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 12
2. 論文標題 [書評]海老原志穂(著)『アムド・チベット語文法』東京:ひつじ書房、2019年、xxiv+374pp.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 71-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ROCHE GERALD, SUZUKI HIROYUKI	4. 巻 52.4
2. 論文標題 Tibet's Minority Languages: Diversity and endangerment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Modern Asian Studies	6. 最初と最後の頁 1227-1278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0026749X1600072X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 -
2. 論文標題 Geolinguistic approach to the route of Tibetic loanwords in Lhagang Choyu	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Papers from the Fourth International Conference of Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 115-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 -
2. 論文標題 Aorist in Lhagang Tibetan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the 51st International Conference on Sino-Tibetan Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 877-884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsering Samdrup, Hiroyuki Suzuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Evidential system in Mabzhi Tibetan of Amdo	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the 51st International Conference on Sino-Tibetan Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 913-925
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Tashi Nyima	4. 巻 -
2. 論文標題 Historical relationship among three non-Tibetic languages in Chamdo, TAR	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the 51st International Conference on Sino-Tibetan Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 885-891
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 5
2. 論文標題 康巴藏語崩波崗方言群及其語音特徴	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 四川民族學院學報	6. 最初と最後の頁 66-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3969/j.issn.1674-8824.2018.05.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Tsering Samdrup, Sonam Wangmo	4. 巻 37
2. 論文標題 Contrastive word list of three non-Tibetic languages of Chamdo: Lamo, Larong sMar, and Drag-yab sMar	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 79-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/240980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 37
2. 論文標題 [書評] Danguole Mikulieniene & Anna Stafecka (編) Baltu valodu atlants: Leksika 1 Flora / Baltu kalbu atlasas: Leksika 1 Flora / Atlas of the Baltic Languages: Leksis 1 Flora. Otrais izlabots un papildinats izdevums / Antrasis pataisytas ir papildytas leidimas / Second revised edition. Vilnius: Lietuvių Kalbos Institutas, 2013, 568pp.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 京都大学言語学研究	6. 最初と最後の頁 105-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/240981	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 13
2. 論文標題 Two folktales in Lhagang Tibetan (Minyag Rabgang Khams): Three Birds and Lark and Partridge	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asian and African Languages and Linguistics (AALL)	6. 最初と最後の頁 131-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/92954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 -
2. 論文標題 カムチベット語梭坡[Sogpho]方言 (丹巴県) における使役の表現	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 シナ = チベット系諸言語の文法現象 2 : 使役の諸相	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 48
2. 論文標題 カムチベット語洛玉[Lungyu]方言の方言特徴	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ニダバ	6. 最初と最後の頁 23-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tashi Nyima, Hiroyuki Suzuki	4. 巻 42.1
2. 論文標題 Newly recognised languages in Chamdo: Geography, culture, history, and language	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Linguistics of the Tibeto-Burman Area	6. 最初と最後の頁 38-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1075/ltba.18004.nyi	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 48
2. 論文標題 Outline of the sound structure of Lhagang Choyu: A newly recognised highly endangered language in Khams Minyag	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Revue d'etudes tibetaïnes	6. 最初と最後の頁 99-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo	4. 巻 2
2. 論文標題 Migration history of Amdo-speaking pastoralists in Lhagang, Khams Minyag, based on narratives and linguistic evidence	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mapping Amdo	6. 最初と最後の頁 203-222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 23
2. 論文標題 特集: 「チベット・ビルマ系諸言語の音声と音韻」まえがき	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 音声研究	6. 最初と最後の頁 26-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24467/onseikenkyu.23.0_26	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Tsering Samdrup, Niangwujia (Nyingbo-Gyal), Jixiancairang (Chaksham Tsering), Sonam Wangmo	4. 巻 23
2. 論文標題 /SH/ in Amdo Tibetan: Descriptive and historical approaches	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan	6. 最初と最後の頁 76-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24467/onseikenkyu.23.0_76	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之、四郎翁姆	4. 巻 11
2. 論文標題 カムチベット語塔公[Lhagang]方言における口承文芸の記録と言語分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 17-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 11
2. 論文標題 チベット文化圏に暮らすリス族の話すカムチベット語方言：徳欽県霞若郷布亞培村の言語事情	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 -
2. 論文標題 利用語言地圖闡明音變的擴散和界限：以香格里拉藏語的“r 韻尾”語音演變為例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東部亞洲地理語言学論文集	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 -
2. 論文標題 1899年出版《藏拉法詞典》記載的動詞snang口語用法及其來歷	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東部亞洲地理語言学論文集	6. 最初と最後の頁 43-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 -
2. 論文標題 瀾滄江流域鹽井至巴迪段藏語土話中的語音及詞匯異同概況	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東部亞洲地理語言学論文集	6. 最初と最後の頁 14-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之、達瓦卓瑪、吞智	4. 巻 -
2. 論文標題 康巴藏区藏族語言“老鷹/雕”詞形的分布及其来源: 以与藏文glag对应的詞為例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東部亞洲地理語言学論文集	6. 最初と最後の頁 53-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tunzhi (Sonam Lhundrop), Hiroyuki Suzuki, Gerald Roche	4. 巻 -
2. 論文標題 Language contact and the politics of recognition amongst Tibetans in China: The rTa' u-speaking 'Horpa' of Khams	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Politics of Language Contact in the Himalaya	6. 最初と最後の頁 18-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11647/OBP.0169	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 李春梅、鈴木博之	4. 巻 5
2. 論文標題 康定市吉居藏語所屬問題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 民族學刊	6. 最初と最後の頁 102-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3969/j.issn.1674-9391.2020.05.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Lozong Lhamo	4. 巻 -
2. 論文標題 'Where' as a negative marker in Khams Tibetan: A geolinguistic approach towards a grammaticalisation process	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of Methods XVI: Papers from the Sixteenth International Conference on Methods in Dialectology, 2017	6. 最初と最後の頁 289-296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3726/b17102	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Abe Powell & Hiroyuki Suzuki	4. 巻 40.2
2. 論文標題 Phonetic distance and dialect clustering on the Qinghai-Tibet Plateau	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Linguistics of the Tibeto-Burman Area	6. 最初と最後の頁 161-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1075/ltba.17004.pow	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazue Iwasa, Hiroyuki Suzuki, Keita Kurabe, Satoko Shirai, Shiho Ebihara, & Ikuko Matsuse	4. 巻 7
2. 論文標題 Tone and accent in Tibeto-Burman	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 7
2. 論文標題 Suprasegmentals in Tibetic languages of the eastern Tibetosphere: From a geolinguistic perspective	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 7
2. 論文標題 Additional remarks on 'sun' in Yangthang Tibetan: gnam lha and nangs lha	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 50-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsering Samdrup & Hiroyuki Suzuki	4. 巻 7
2. 論文標題 Migration history and tsowa divisions as a supplemental approach to dialectology in Amdo Tibetan: A case study on Mangra County	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 57-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki & Sonam Wangmo	4. 巻 36
2. 論文標題 Prince's wife become a lark in Lhagang Tibetan of Khams	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 71-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/230688	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki & Sonam Wangmo	4. 巻 12
2. 論文標題 Lhagang Choyu wordlist with the Thamkhas dialect of Minyag Rabgang Khams (Lhagang, Dartsendo)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asian and African Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 133-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 47
2. 論文標題 カムチベット語芒康・江仲[sMarling]方言の方言特徴	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ニダバ	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 95
2. 論文標題 香格里拉市北部のカムチベット語諸方言の方言特徴とその形成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究	6. 最初と最後の頁 5-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/92458	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 10
2. 論文標題 カムチベット語rGyal thang下位方言群における歯-歯茎音の前部硬口蓋化現象とその周辺	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木博之・四郎翁姆	4. 巻 10
2. 論文標題 カムチベット語塔公[Lhagang]方言の述部に標示される証拠性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 13-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木博之	4. 巻 2
2. 論文標題 理塘県及其周邊藏族語言現狀調查與分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民族學刊	6. 最初と最後の頁 35-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3969/j.issn.1674-9391.2018.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Shirai, Keita Kurabe, Hiroyuki Suzuki, Kazue Iwasa, & Shiho Ebihara	4. 巻 8
2. 論文標題 'It rains' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 35-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Shirai, Hiroyuki Suzuki, & Keita Kurabe	4. 巻 8
2. 論文標題 Semantic shifts in expressions for 'it rains' in Tibeto-Burman	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 62-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 巻 8
2. 論文標題 Remarks on 'rain' in Tibetans' languages in Lithang County	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studies in Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 56-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計46件(うち招待講演 11件/うち国際学会 32件)

1. 発表者名 Dawa Drolma, Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Differentiating a systematical description from a categorical approach of evidentiality of Tibetic languages
3. 学会等名 54th International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo, Tsering Samdrup
2. 発表標題 Lexical features of copulative and existential verbs in Lamei and other minority languages in Chamdo
3. 学会等名 6th Workshop on Sino-Tibetan Languages of Southwest China (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 'Hear' or 'say': Some issues on reported evidentials in Choswateng Tibetan (rGyalthang, Yunnan)
3. 学会等名 6th Workshop on Sino-Tibetan Languages of Southwest China (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki and Yuxia Zou
2. 発表標題 Language conservation with writing a dialect in Tibetan: A case study on folktales of Cone Tibetan
3. 学会等名 3rd Workshop on Amdo Research Network (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo
2. 発表標題 Verb reduplication in Lhagang Tibetan
3. 学会等名 Workshop on ideophones and reduplication (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Sensory access in the evidential system of Choswateng Tibetan (rGyalthang, Yunnan)
3. 学会等名 L'evidentialite et la modalite : Au croisement de la grammaire et du lexique (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 雲南藏語方言互通度差異的語言学解釈
3. 学会等名 第五屆西藏智庫國際論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 從地理語言學的角度來講雲南藏語的歷史發展
3. 学会等名 中国語言地理比較研究論壇（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Geolinguistic significance of the Phongpa dialect in the history of Yunnan Tibetan
3. 学会等名 2nd Annual Meeting of Japan Geolinguistics Society (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 How Tibetans classify pigs in their languages in the eastern Tibetosphere
3. 学会等名 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 從“na”到“不”：雲南迪慶藏語否定標記的語法化
3. 学会等名 第27屆國際中國語學會 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki and Sonam Wangmo
2. 発表標題 How the hearsay evidential functions in narratives in Lhagang Tibetan
3. 学会等名 4th Linguistics Research Student Conference @ SOAS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki and Sonam Wangmo
2. 発表標題 Evidential marking in narratives in Lhagang Tibetan
3. 学会等名 52nd International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tshering Yangdron and Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Altitude matters: A geolinguistic study of gTorwangrong Tibetan (Shangri-La, Yunnan)
3. 学会等名 52nd International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Glottonyms, identity, and language recognition in the eastern Tibetosphere
3. 学会等名 Joint Workshop of 52nd International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics and 20th Himalayan Languages Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sonam Wangmo, Hiroyuki Suzuki and Tsering Samdrup
2. 発表標題 Generational differences in the Rongsmad dialect of Larong smar: Phonetic and lexical features
3. 学会等名 25th Himalayan Languages Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki and Tashi Nyima
2. 発表標題 Copulative and existential verbs in Lamo (Chamdo, TAR): A typological perspective
3. 学会等名 25th Himalayan Languages Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Glottonyms and language recognition in the eastern Tibetosphere
3. 学会等名 15th Seminar of the International Association for Tibetan Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Tibetic terms on 'sow' and 'boar' in the eastern Tibetosphere: (Mis-)interpretation and analogy around 'pig-mother' and 'pig-father'
3. 学会等名 1st Annual Meeting of Japan Geolinguistics Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 再論丁種本《西番譯語》(川九)中被記錄的藏語方言
3. 学会等名 第二屆近代東西語言接觸研究學術會議 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo
2. 発表標題 Geolinguistic approach to the route of Tibetic loanwords in Lhagang Choyu
3. 学会等名 4th International Conference of Asian Geolinguistics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 從疑問詞到否定前綴的語法化：雲南藏語如何獲得第三個否定前綴
3. 学会等名 復旦大學學術沙龍（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 利用Gadmap 進行語言研究：藏語方言研究的成果和反思
3. 学会等名 上海大學文學院講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 從藏族傳統地理來看康巴藏語的分布與分類法
3. 学会等名 2018年中國民族語言地理語言學沙龍（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 川甘交界區藏語土話的多樣性：地理語言學研究的啓示
3. 学会等名 中央民族大学藏学院講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 藏語口語發展史與地理語言學：以雲南藏語的發展過程為例
3. 学会等名 中央民族大学藏学院講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Tsering Samdrup
2. 発表標題 How geolinguistics deals with pastoralists' speeches and their history: A case study on Amdo Tibetan in Eastern Tibet
3. 学会等名 9th Congress of the International Society for Dialectology and Geolinguistics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Khams Tibetan as a linguistic minority in Myanmar: A sociolinguistic description
3. 学会等名 6th Conference of the Asian Borderlands Research Network (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之、四郎翁姆
2. 発表標題 木雅塔公藏族民間故事的類型及其特徵：以猪故事為例
3. 学会等名 中国少数民族文學與文獻國際學術論壇（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo
2. 発表標題 Aorist in Lhagang Tibetan
3. 学会等名 51st International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tsering Samdrup, Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Evidential system in Mabzhi Tibetan of Amdo
3. 学会等名 51st International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Tashi Nyima
2. 発表標題 Historical relationship among three non-Tibetic languages in Chamdo, TAR
3. 学会等名 51st International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 記録・描写・看望歴史：康巴地区实践的藏語方言学研究
3. 学会等名 迦入空間第58期分享（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki, Sonam Wangmo, Tsering Samdrup
2. 発表標題 Essential evidential framework of Tibetic languages: Data from Khams and Amdo
3. 学会等名 46th meeting of Tibeto-Burnam Linguistic Circle
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木博之、四郎翁姆
2. 発表標題 カムチベット語塔公[Lhagang]方言における非感知完了接辞の用法
3. 学会等名 言語記述研究会第92回会合
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 次林央珍、鈴木博之
2. 発表標題 東旺藏語語言地図及与其周邊土話的關係
3. 学会等名 2019年中国民族語言地理語言學沙龍（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 利用已出版的方言資料集進行地理語言学研究：以《拉hu語方言地圖集》為例
3. 学会等名 2019年中国民族語言地理語言學沙龍（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 民間故事的語言結構類型及藏語中的特点
3. 学会等名 中央民族大学藏学院講座（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 地理語言学上的海拔因素：雲南迪慶康巴藏語的個案研究
3. 学会等名 上海大学文学院講座（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Suprasegmentals in Tibetic languages: From a geolinguistic perspective
3. 学会等名 ILCAA Project Studies in Asian Linguistics 2017 1st annual meeting
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 藏語方言中謙讓表達的形態學特徵
3. 学会等名 中国藏學研究中心招待講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki & Tashi Nyima
2. 発表標題 Outline of verb morphology of Lamo (mDzo sgang, Tibet)
3. 学会等名 50th International Conference for Sino-Tibetan Languages and Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Towards language revitalisation of invisible indigenous languages in Eastern Tibet: Examining the cases of 'Choyu' and 'Lamo'
3. 学会等名 International Conference on Policy towards Indigenous Peoples: Lessons to be learned! (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tsering Samdrup & Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Humilific expressions in Amdo Tibetan and local intellectuals' attitudes towards them
3. 学会等名 Language Standardisation and Linguistic Variation in Asia from Sociolinguistic Perspectives (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木博之
2. 発表標題 藏語方言中謙讓表達的形態及其詞法
3. 学会等名 華東師範大学招待講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroyuki Suzuki
2. 発表標題 Findings from 100 maps of the Swadesh wordlist of Yunnan Tibetan
3. 学会等名 ILCAA Project Studies in Asian Linguistics 2017 2nd annual meeting
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 Nicolas Tournadre, Hiroyuki Suzuki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 LACITO Publications	5. 総ページ数 -
3. 書名 The Tibetic Languages: An Introduction to the Family of Languages Derived from Old Tibetan	

1. 著者名 鈴木博之、遠藤光暁（編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 238
3. 書名 中国語言地理研究論文集	

1. 著者名 Mitsuaki Endo, Makoto Minegishi, Satoko Shirai, Hiroyuki Suzuki, and Keita Kurabe	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Hituzi Syobo	5. 総ページ数 372
3. 書名 Linguistic Atlas of Asia	

1. 著者名 鈴木博之、倉部慶太、遠藤光暁	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 169
3. 書名 東部亞洲地理語言学論文集	

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Keita Kurabe and Mitsuaki Endo	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa	5. 総ページ数 64
3. 書名 Papers from the Workshop "Phylogeny, Migration, and Contact of East and Southeast Asian Languages and Human Groups"	

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa	5. 総ページ数 155
3. 書名 100 Linguistic Maps of the Swadesh Word List of Tibetic Languages from Yunnan	

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki, Mitsuaki Endo	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa	5. 総ページ数 183
3. 書名 Papers from the Fourth International Conference of Asian Geolinguistics	

1. 著者名 Hiroyuki Suzuki & Mitsuaki Endo	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa	5. 総ページ数 79
3. 書名 Proceedings of the Workshop "Geolinguistic Method and Southeast Asian Linguistics"	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	タシ ニマ (Tashi Nyima)		
研究協力者	ソナン ワンモ (Sonam Wangmo)		
研究協力者	ツェラン サンドゥブ (Tsering Samdrup)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	ツリン ヤンドゥン (Tshering Yangdron)		
研究協力者	李 春梅 (Li Chunmei)		
研究協力者	周 洋 (Zhou Yang)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ノルウェー	オスロ大学	The Evolution Institute	オスロ平和研究所	
中国	中央民族大学	四川民族学院	上海財経大学	他1機関
オーストラリア	メルボルン大学	ラトロープ大学		
ドイツ	ボン大学			
英国	ロンドン大学			
フランス	エクス・マルセイユ大学			